

金沢大学附属病院脳神経外科で 脳腫瘍摘出術を実施した脳腫瘍の患者さんへ

「脳腫瘍患者における神経ネットワークのハブの解析」に関して

近年、脳をネットワークとしてとらえる見方が主流になりつつあります。ネットワークの中には、ハブと言われる、ネットワークの中心的役割を果たす領域が存在します。現在、脳腫瘍に対する手術においては、「侵襲を回避すべき領域」が存在します。この領域は手術による摘出が困難なため、手術以外の治療が選択される場合が多くあります。しかしながら、従来侵襲を回避すべき領域とされてきた部位に病変があったり、やむを得ず摘出されたとしても、必ずしも慢性期まで残る障害を来さないことが分かってきました。私たちは、従来の「侵襲を回避すべき領域」とされてきた領域よりむしろ、ハブが重要なのではないかと考えています。

今回、脳腫瘍患者における機能的・構造的ネットワークのハブの特徴とその損傷が及ぼす影響を調べることにしました。本研究をとおして得られる結果より、機能予後の向上だけでなく、従来は摘出困難とされていた領域であっても手術が可能となる可能性があることから、生命予後の向上にも貢献すると考えられ、脳腫瘍の治療に携わる人にとって大変意義のあるものとなると考えています。

本研究は、通常診療の範囲内ですでに得られたデータ、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」、または2593「高次脳機能温存を目的とした覚醒下手術の有用性の検討」において得た研究結果を用いて後方視的な検討を行う研究です。なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、医薬保健研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

研究の対象は2013年から2028年9月までの間に金沢大学で覚醒下手術を施行された方です。この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、あなたの資料を研究に供することはありません。

2. 研究の目的について

研究課題名：脳腫瘍患者における神経ネットワークのハブの解析

この研究では通常の保険診療の範囲内で行われた診療から得られたデータ、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」、または2593「高次脳機能温存を目的とした覚醒下手術の有用性の検討」において得た研究結果を用いて、拡散テンソルトラクトグラフィ、および安静時機能的MRIの結果から、ハブとなる領域を抽出し、脳機能や手術との関連を検討します。

3. 研究の方法について

この研究ではすでに本学において脳腫瘍摘出術を施行された方の診療記録の記載情報、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」、または2593「高次脳機能温存を目的とした覚醒下手術の有用性の検討」で得た結果を用いて、後方視的にハブとな

る領域と、脳機能や手術との関連を検討します。収集したデータと解析結果は学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報公表されることは一切ありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、金沢大学医学倫理委員会の承認日から2028年12月31日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・年齢
- ・病理、腫瘍の遺伝子情報（IDH-1, 1p19q, MGMT）
- ・MRI（T1, FLAIR, 拡散テンソル画像）、病変の領域と範囲
- ・安静時機能的MRI
- ・手術所見
- ・術前から術後1年（最長術後2年）までの高次脳機能検査結果
- ・日常生活自立度、社会復帰についての情報

6. 外部への試料・情報の提供・公表

収集されたデータは学会や論文などに発表されます。

7. 予想される利益と不利益について

この研究は診療記録より後方視的に得られたデータ、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」、または2593「高次脳機能温存を目的とした覚醒下手術の有用性の検討」で得た結果を統計解析する研究であり、この研究に参加してもあなたに直接の利益はありません。また、不利益もありません。しかし、個人情報の流出の可能性が全くないわけではありません。データの取扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため、新たに個人情報を扱うことはありません。なお、診療記録より得た情報については、これまで実施してきたのと同様、研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また、これらの情報は鍵のかかる机に保管し、個人情報が流出することがないように、細心の注意を払います。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用等の負担はありません。

10. 研究組織

研究責任者：金沢大学 脳・脊髄機能制御学 教授 中田 光俊

研究分担者：金沢大学 リハビリテーション科学領域 助教 中嶋 理帆

1 1. 研究への不参加の自由について

あなたの情報が当該研究に用いられることについて、御家族・（患者さん本人の配偶者および本人の一親等以内の血族から協議し選ばれた方）の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2028年12月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

1 2. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたい場合は、ご遠慮なくいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

住所：金沢市宝町13-1

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262